

## 2021年度ミッドシニア選手権 大会要項

### 開催日程

2021年7月18日(日) 予選 18ホール ストロークプレー

2021年7月25日(日) 決勝 18ホール ストロークプレー

※参加者が8名に満たない場合は大会不成立とする。

### 競技の条件

1. 本競技には、日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 本競技は、36ホールズストロークプレーとし、予選上位16名が決勝ラウンドへの出場資格を得る。16位タイが出た場合はカウントバックで順位を決する。  
決勝ラウンドにおいて規定のホールで決着がつかない場合は、1番ホールからのサドンデスプレーオフにて決定する。
3. ホールとホールの間での練習は禁止する。(ただし指定練習グリーンは除く) 競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反した場合、次のホールで2打罰を加える。ただし最終ホールの場合はそのホールで罰を受けるものとする。
4. 本競技で使用するティーマークは、男性は青ティー、女性は白ティーとする。
5. 参加申し込みは6月18日から7月11日までとする。参加費は予選・決勝各2,000円(税別)とする。
6. 参加資格は、予選開催日で満63歳以上であること、USGAハンディキャップが26.0までのものとする。また7月11日時点において、過去6か月で月例に2回以上参加していること。

### ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその境界を標示する。
3. コース内の池はすべてラテラル・ウォーターハザードとし、その境界は赤杭ないし赤線をもって標示する。
4. 8番ホールの左右の池にティーショットの球が入った場合及び16番ホールでティーショットの球が手前の池に入った場合は、前方のドロップエリアより1打罰でプレーすることができる。
5. 13番ホールで左OBの場合は、グリーン後方のドロップエリアより2打罰でプレーすること。
6. 10番、14番ホールで、ティーショットがOBまたはロストボールの場合は、前方特設ティーより第4打としてプレーすることができる。
7. 7番、15番フェアウェイ左の池付近で球が確認できないときは、マーカールの同意に基づき池に入ったものとみなし、ラテラル・ウォーターハザード扱いとする。なお次打は、ドロップエリアより1打罰でプレーすること。
8. スルーザグリーンにあるすべての枕木は、動かさない救済を受けられる障害物として扱うものとする。なおバンカーの縁にある枕木は、バンカーの一部とはみなさない。バンカーにボールがあり枕木がスイングの妨げになる場合、次打を無罰でバンカー内にドロップしてプレーすることができる。
9. 競技中にルールに関する疑義が生じた場合は、そのホールを2ボールにてホールアウトして、事後に決裁を仰ぐものとする。
10. ペナルティエリア以外で紛失球やOBとなった場合2打罰を加え次の処置をしなければならない。OBとなった場所、紛失したと思われる場所(Aとする)からホールに近づかないラフとフェアウェイの境界点(Bとする)を見つけ、一方のサイドはホールとAを結ぶ線上、もうひとつのサイドはホールとBを結ぶ線上を定めて、救済エリアはその両サイドから2クラブレングスの範囲を含めた区域となる。その区域内でホールに近づかない様ドロップする。

### 注意事項

1. 欠席者があった場合、組合せ及びスタート時間を変更することがある。
2. プレーの進行に留意し、前組との間隔を不当に空けないよう注意すること。前組との間隔が15分以上遅れた場合、2打罰を科する。
3. 競技条件またはローカルルールに追加、変更があるときはスタート前に掲示して告知する。
4. 競技受付はスタート時間の5分前までに行なうこと。時間に遅れた場合は失格とする。
5. コース内での携帯電話の使用は禁止とする。
6. 高低差が表示されない計測機器の使用を認める。

ワンウェイゴルフクラブ  
競技委員長 上田 浩二